

< あなたの治療について >



消・外 - DOC - 胃 - q3w

今回の治療は、DOC 療法という治療法で、ドセタキセル（DOC）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

### 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間で1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

### 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~21日目
	デキサート (吐き気止め)	点滴 約15分		お休み
	ドセタキセル (抗がん剤) 75mg/m <sup>2</sup>	点滴 約60分		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

### 起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

#### ドセタキセルについて

白血球減少、好中球減少、ヘモグロビン減少 食欲不振、悪心、嘔吐 全身倦怠感 脱毛

### 特徴的な副作用について

#### ドセタキセルにおける

##### 過敏症状

呼吸困難、気管支痙攣、血圧低下、胸部圧迫感、発疹等

##### 心不全

「階段や坂道をすこしのぼっただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む」などの症状

##### 血圧低下

##### 不整脈、動悸等

「めまい、動悸、胸が痛む、胸部の不快感、脈が跳ぶような感じ」などの症状

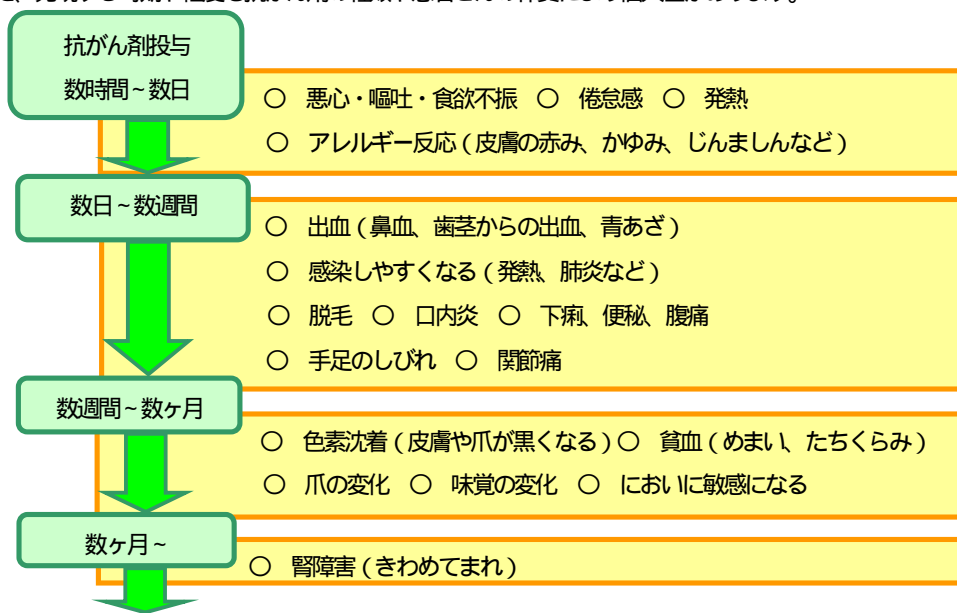
\* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

## 副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## 副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

## 薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

### 【ドセタキセル】

- <骨髄抑制>発熱、寒気がする、のどが痛む；口の中に白い斑点ができる；手足に赤い点（点状出血）または赤いあざ（紫斑）ができる、出血しやすい（歯ぐきの出血・鼻血など）；水のような下痢；口内炎；通常の生活をしていてだるさが続く、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる、顔色が悪いといわれる
- <ショック症状、アナフィラキシー様症状>顔が赤く熱くなる、皮膚が痒い、蕁麻疹が出る、唇や舌・手足がしびれる、くしゃみ・咳が出る、気分が悪い、心臓がドキドキする、尿意や便意を生じる、喉がつまる、息が苦しい、目の前が暗くなる
- <黄疸、肝不全、肝機能障害>したいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい、黄褐色尿（泡まで黄色い）、淡黄色便；時間や場所を以前より多く間違える、物を取り違える；手が震える；十分睡眠をとっているのにいつもうとうとしてしまう；いつもおなか張っている、すこし食べるとすぐおなかがいっぱいになる、発熱（38～39）、ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる
- <急性腎不全>顔や手足がむくむ、からだかだるい、尿の量が減る、尿が赤みを帯びる、発熱、発疹、お腹が痛む、吐き気、下痢、節々が痛む、体重が減る
- <間質性肺炎、肺線維症>息切れがする、動いたときに息苦しくなる；発熱；から咳がでる；体がだるい；体重が減る
- <心不全>階段や坂道をすこしのぼただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む
- <播種性血管内凝固症候群>出血しやすい、血が止まりにくい
- <腸管穿孔、胃腸出血>急にお腹が痛む、お腹が張る感じ；嘔吐、吐いたものに血が混じる；便が黒くなる
- <虚血性大腸炎、大腸炎>お腹の痛み；頻回の下痢、水のような下痢、トマトジュースのような下痢
- <イレウス>便秘、頑固な便秘；だんだん強くなる腹部膨満、吐き気
- <急性呼吸器不足症候群>息が苦しい、せきがでる、不安になる、呼吸がはやくなる、脈がはやくなる、汗が出る、体重が減る
- <急性膀胱炎>急に胃のあたりがひどく痛む、食欲がない、吐き気
- <皮膚粘膜眼症候群>発熱；関節が痛い；皮膚が斑に赤くなる、水膨れができる；くちびる、口内がある；目が充血する
- <中毒性表皮壊死症>発熱；発疹、皮膚が赤くなる、皮膚が剥けるように熱く感じる、皮膚の痛み、水膨れができる；口内がある
- <多形紅斑>全身の皮膚に痒みや部分的に痛み・熱感を伴った赤いまだらのいろいろな形の発疹や水泡ができる
- <心タンポナーデ>胸の痛み、息苦しさ、動悸、むくみ、胸部の締めつけられる感じ
- <肺水腫>息苦しい；座っている方が呼吸が楽である；呼吸回数が増える；胸が痛い、悪心・嘔吐、咳込む、脈が速くなる、ピンク色の泡沫の痰が出る
- <浮腫、体液貯留>足がむくむ、顔面やまぶたが腫れぼったくなる；体重が急激に増加した、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる
- <心筋梗塞>急な胸の強い痛み、胸が締めつけられるような感じがする、胸が圧迫されるように苦しい
- <静脈血栓塞栓症>頭痛、特に繰り返す頭痛；気分不快、吐き気、嘔吐；ろれつが回らない；視野の変化、ものが見えにくい；突然起こる腹痛、ひどい腹痛、腹痛が続くとき；鋭い胸の痛み、息切れ；それ以外の足の痛み、特にふくらはぎの痛み；手足の脱力、むくみ、しびれ
- <感染症>発熱、喉が痛む、咳が出る、痰が出る、口内炎、発疹、水膨れができる、尿の回数が増える、尿が濁る、排尿時に痛みを感じる
- <抗利尿ホルモン不適合分泌症候群>むくみのない短期間での体重増加、頭痛；吐き気、嘔吐；めまい；全身のだるさ

**上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

**他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。**